

7. 平成27年度の重点施策や特徴的な取り組み

五島に活力を！

五島市の活力の向上は、基幹産業である農林水産業の振興にあります。離島活性化交付金を活用した輸送コスト支援など、農林水産業者の所得向上と後継者の確保に取り組みます。

■農林業の振興

平成25年度から優良繁殖雌牛の整備に取り組み、繁殖雌牛は増加傾向が見られます。引き続き事業を推進し、優良繁殖雌牛の整備と生産者の経営規模拡大を支援します。

また、農地基盤整備を進め、大規模農業へ転換し、生産コストの削減、労働時間の短縮を図り、収益性の高い農業を目指します。

■水産業の振興

離島漁業再生支援交付金が平成31年度まで延長されます。引き続き漁業集落と連携し、種苗放流やいそ焼け対策などによる漁場の生産力の向上に取り組みます。

また、マグロは、資源管理の面から漁獲規制が強化され、人口種苗を使用するマグロ養殖事業の拡大が見込まれますので、「マグロ養殖の基地化」を推進します。

■商工観光の振興

地域が持つ資源を生かした体験プログラムや農漁村民泊を通して、自然・歴史・文化などに触れる体験型観光により、魅力ある観光地づくりに取り組みます。

また、教育旅行の誘客は、確実に成果が見られていることから、今後も官民一体となって誘致拡大に取り組みます。

【主な事業】

- 戦略産品海上輸送費支援事業
- 燃油高騰対策事業
- 担い手育成確保対策事業、青年就農給付金事業、漁業後継者育成事業
- 優良雌牛導入事業
- 離島漁業再生支援交付金
- 体験型観光推進事業
- 着地型観光推進体制整備事業
- 五島市への教育(修学)旅行誘致事業
- しま共通地域通貨発行事業



【愛称】しまうマッチ

ネーミングとしての愛らしさはもちろん、「マッチ」とは、「match」に通じることを意図しています。「mat」は「つり合うこと」で、しまとく通貨を使うことで、しま市町の魅力がもっとよみかき「理想」と「現実」「期待」と「実態」が「マッチすること」を表しています。

暮らしを守る！

■市民主役の地域活動支援

地域をもっと住みやすく、もっと元気にするため、「地域の絆再生事業」を推進し、市民が主体となる地域活動を積極的に支援します。平成26年度のモデル地区での成果や課題を踏まえ、平成27年度は、市内全地域へ拡大します。

■医療福祉対策

「日本一健康なしま」づくりの重点施策として、町内会の協力を得ながら特定健康診査の受診率の向上に取り組めます。また、ピロリ菌など胃がんのリスク健診の導入や国民健康保険短期人間ドック費用助成事業の見直しなどに取り組み、市民の健康と医療費の適正化を図ります。

■カネミ油症被害者対策

平成24年8月、「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が成立しましたが、未認定被害者の救済や市の医療費の立替問題、根本的な治療法の解明など全面解決していないので、引き続き、被害者の会の活動を支援します。

【主な事業】

- 地域の絆再生事業
- 健康増進事業
- 胃がんリスク検査事業
- カネミ油症対策事業



子どもたちに島を託す！

■子育て・教育環境の充実

子どもを産み育てやすい環境を整備するため、乳幼児福祉医療費助成事業の対象者を小・中学生まで拡大します。また、保育料の半額又は全額免除となる児童を大幅に拡大します。

小学生からの英語習得事業「プロジェクトG」は、平成26年度に市内6小学校が教育課程特例校の指定を受けており、平成27年度はさらに指定校の拡大に取り組めます。

■スポーツの振興

全国の離島の中学生球児が一堂に会する「全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)」を平成27年8月に開催します。また、トップアスリートなどのスポーツ合宿を誘致し、スポーツによる「まちづくり」と「賑わいづくり」による地域の活性化を図ります。

■教会群の世界遺産登録

平成27年1月、政府はユネスコ世界遺産センターへ正式推薦書を提出しました。教会群の世界遺産登録を目指し、県及び関係市町村と連携して広報啓発、受入体制の整備など積極的に展開します。

【主な事業】

- 子ども福祉医療費助成事業
- 保育所入所多子世帯負担軽減
- 全国離島交流中学生野球大会開催
- スポーツ交流人口拡大推進事業
- 世界遺産登録推進事業

